



中区は名古屋市内において、比較的に災害のリスクが低いとされていますが、栄学区には以下のような災害のリスクがあります。安心せず、正しく災害のリスクを知りましょう。

【地震】

- 震度：6弱～6強  
(全体的に液状化の可能性あり)
- 建物倒壊危険性：あり  
(建物全壊率5%以上のところが点在)
- 道路閉塞危険性：あり  
(道路閉塞確率20%以上のところが点在)
- 火災延焼危険性：学区南西部にあり
- 土砂災害(特別)警戒区域：なし
- 津波：なし



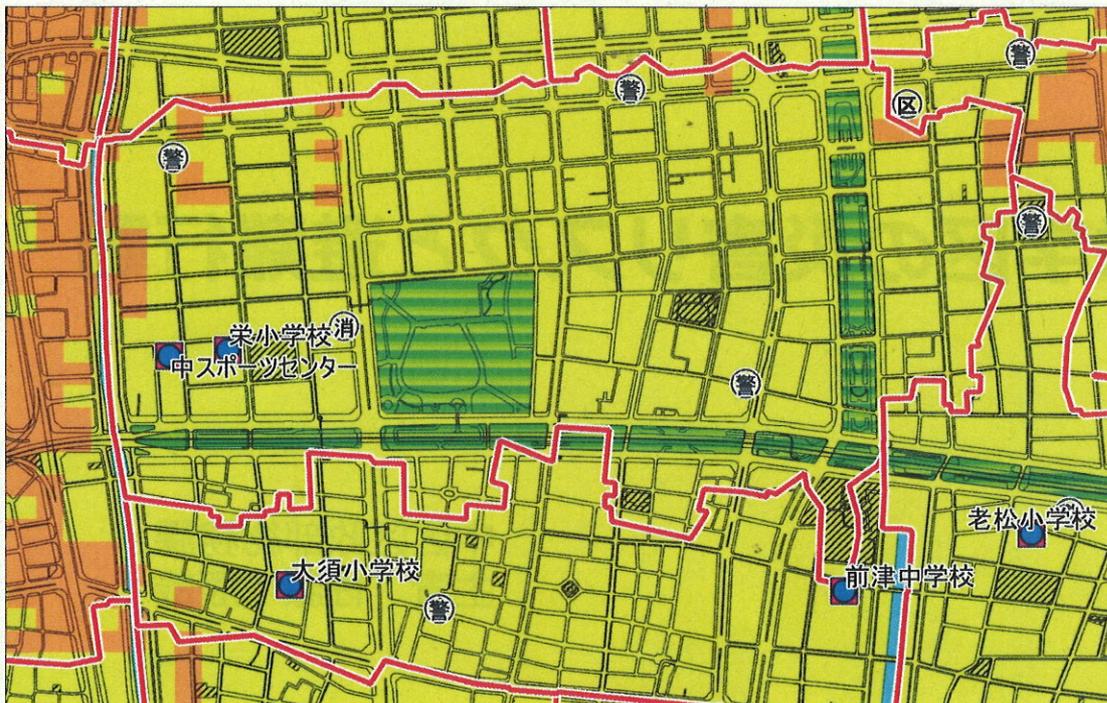
【洪水・内水・高潮の浸水想定】

- 洪水：なし
- 内水：あり  
(最大1.0～3.0m未満の浸水想定あり)
- 高潮：堀川沿いに一部あり



【震度分布】

★1000年に1度来るかもしれない最大クラスの地震の場合！



震度	
■	7
■	6強
■	6弱
■	5強
■	5弱

■ 指定避難所	■ 指定避難所兼指定緊急避難場所	● 指定緊急避難場所	⊗ 区役所・支所
⊗ 消防署・出張所	⊗ 警察署・交番	■ 河川・池等	■ 鉄道
■ 公園	■ 河川敷	■ 広域避難場所	■ 一時避難場所

【内水氾濫の可能性】

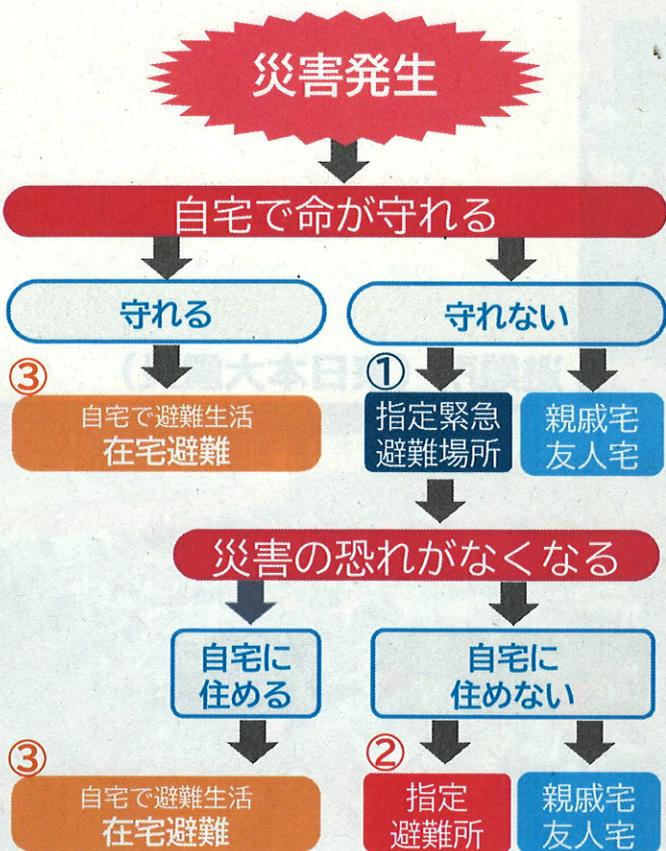
★発生確率1000年以上に1度の雨の浸水想定！！



**浸水深**

10.0m以上
5.0m～10.0m未満
3.0m～5.0m未満
1.0m～3.0m未満
0.5m～1.0m未満
0.3m～0.5m未満
0.3m未満

～災害時の避難行動～



栄学区の災害リスクと避難行動

**①指定緊急避難場所**

命を守るため、**危険からまずは逃げるための場所**

災害の種類	場 所
内水はん濫	栄小学校、中スポセン
地 震	栄小学校(校庭)、 久屋大通、白川公園など
大規模火災	久屋大通、白川公園など

**②指定避難所**

自宅が被災して帰宅できない場合、**一定期間、避難生活を送るための場所**

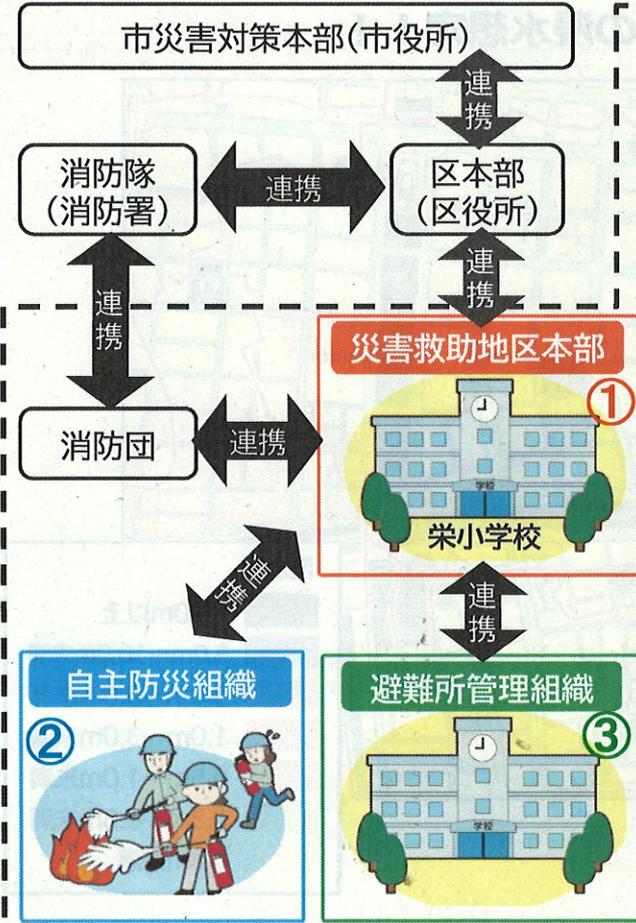
災害の種類	場 所
災害の種類 問わず	栄小学校、中スポセン

**③在宅避難**

自宅が安全な場合は**自宅で避難生活**

## ～災害時の地域の動き～

## 栄学区の災害リスクと避難行動



### 学区地域住民による自主運営！

#### ①災害救助地区本部

原則、小学校に置かれ、区本部(区役所)と地域をつなぎ、自主防災活動・避難所運営をはじめとする学区内の地域防災活動や、災害情報の統括を行う。

#### ②自主防災組織

命を守り、被害軽減のための活動を目的として、町内会若しくは自治会の地域ごとに結成された組織

#### ③避難所管理組織

災害時に避難所の運営を円滑に行うことを目的とする組織で、避難所ごとに組織する

## 避難所 (阪神淡路大震災)

## 栄学区の災害リスクと避難行動



## 避難所 (東日本大震災)

